

第6巻2号発行に当たって

明けましておめでとうございます。「数式処理」の巻と発行年度が不揃いのままで新年を迎えましたが、会員数も少しずつですが増加しており、投稿原稿も同じく増加傾向にあります。さらに事務局等の学会体制の整備も進んでいますので、早期に第6巻の4号までを刊行して行きたいと思っています。

さて、お届けする第6巻2号は論文1編と昨年ハワイ・マウイ島で開催されたISSAC'97の参加者による国際会議報告を中心としています。論文に関しましては、以前にもありましたが、査読の遅れ等から受付と刊行の順序が逆転し、投稿者からの質問等をお聞きしていました。査読者の御努力で、このあたりは相当緩和されました。論文は陰関数描画に関するもので、代数的手法を駆使して正確な描画についての研究です。この種の論文を発表する学術雑誌等が見当たらず、グラフィックス等のシンポジウムの一部に分散して発表されていることが多いのですが、「数式処理」でも、新しい発想に基づく描画システム等の論文も掲載していく必要があると思われます。

ISSAC'97の報告は、同じ時期に同じ場所で開催されたその他2件の国際会議とともに、参加された方の中、本学会会員および、その場で入会いただいた方に依頼したものです。現在までに8編の報告をいただきましたので、これらを掲載します。報告の書き方も自由をお願いしましたので、必ずしも統一のとれたものにはなっていませんが、かえって見方も多様になり会議の雰囲気を知っていただくには良かったかなと思っています。

また、本号から原稿のスタイルファイルの変更を行い、みやすい誌面構成に努力しています。会員各位の各種の投稿により、より充実した学会誌が作成できるようにしたいと思います。